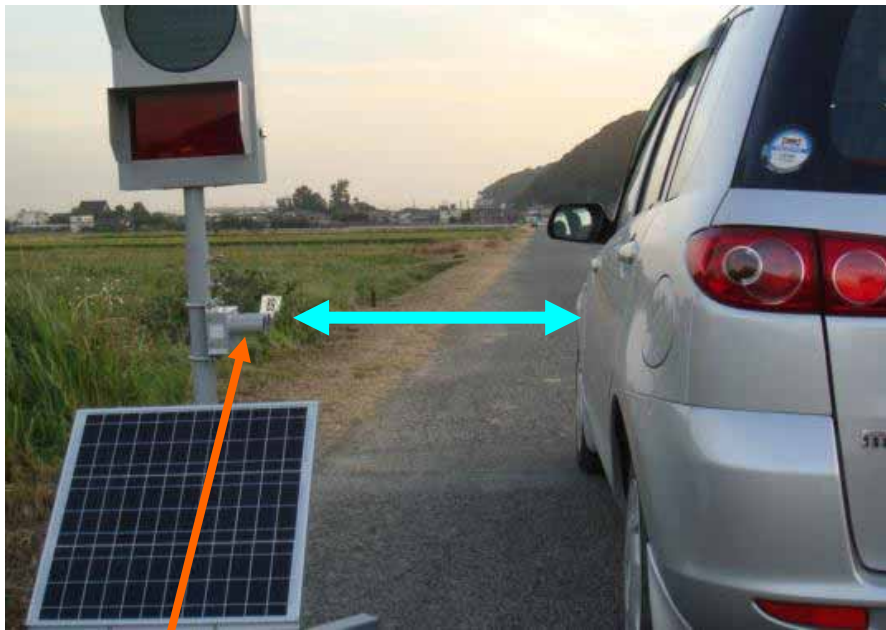
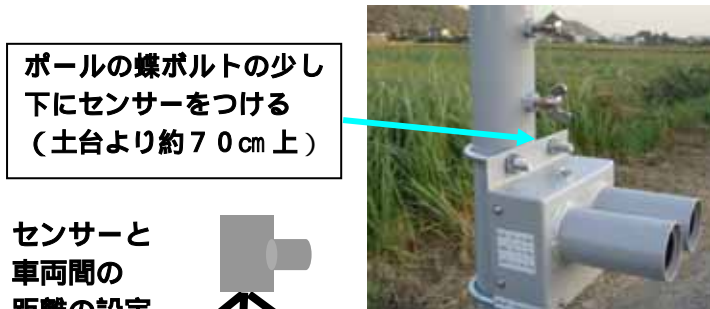
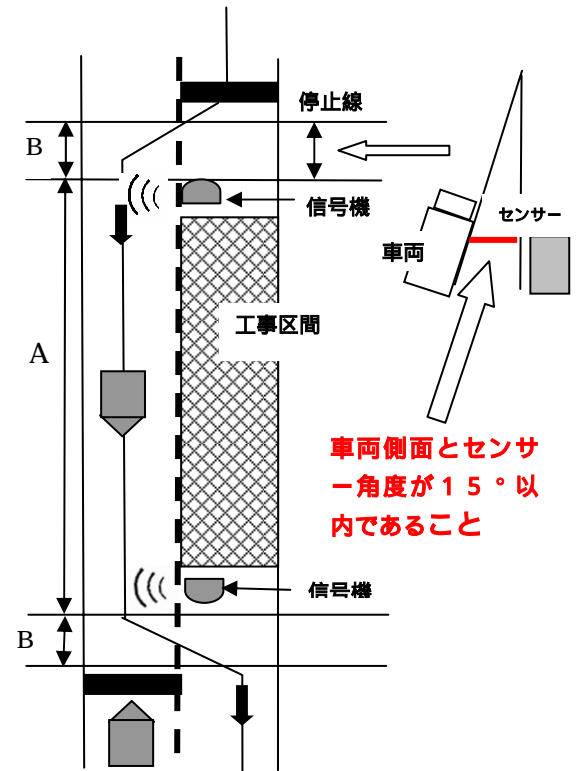


# センサー設置方法



センサーの筒の先が、通過車両の側面に向くように

B 区間は、センサーが車両を斜めに検出するので  
A 区間に信号機を設置する事



センサーと  
車両間の  
距離の設定

- SW 1 (0~2.0m)
- SW 2 (0~3.5m)
- SW 3 (0~4.5m)

## センサー動作確認



待ち時間が短縮されない場合再度確認して下さい  
親機・子機の両方のセンサーが正しくセットされて  
いないと正常に動作しませんので注意してください

## 故障かなと思う前に

### 1、電源が入らない

- (1) バッテリー使用の場合、プラスマイナスの極性は合ってますか。(赤 = プラス 黒 = マイナス)
- (2) バッテリーの残量は十分ですか。(残量確認スイッチで確認して下さい)
- (3) 操作スイッチ説明にありますの電源スイッチはONになってますか。

### 2、待ち時間が飛ばない

- (1) 信号が青のときに待ち時間に「:」が点きっぱなしであればどちらかのセンサーが正常に反応していません。再度センサーを確認して下さい。
- (2) 信号が青の時に待ち時間の1の桁に「0」が点滅していませんか。この場合親機・子機の通信が出来てません
- (3) モード切替スイッチが「タイマー」になってませんか。

### 3、信号が赤点滅する。

- (1) 相手の電源は入ってますか。(相手も赤点滅していませんか)
- (2) モード切替スイッチが「両赤点滅」になってませんか。
- (3) 親機と子機の無線のチャンネルは合ってますか。

合っていない場合、現場設置手順の 項を参照してチャンネルオートスキャンを行って下さい。

使用しない時は、横倒しにしないで下さい。雨水が入り故障の原因となります。立てて保管して下さい

古いバッテリーは充電が弱いため使用しないで下さい。

# 現場設置手順

必要なケーブルを全て接続して、親機・子機両方の電源を入れて下さい。（電源を入れる順番は関係ありません）  
 現場設置・運転の前に、事前に親機・子機のペアで正常に赤・青が切り替わるか確認して下さい。  
 無線機にはチャンネルがあり、工場出荷時にはペアでチャンネルを設定しています。  
 ペアが合っていない、または設定されているチャンネルが使えない場合、**親機・子機の通信が出来ないので両方の信号が赤点滅のままです**。その場合は「状態確認」と「バッテリー残量確認」のスイッチを同時に3秒以上押し続け無線チャンネルのオートスキャンを行って下さい。子機 親機でこの操作をすることで、ペアが確立出来ます。  
 現場設置の時は、適切な赤時間・青時間と運転モードを設定して下さい。  
**ソーラーパネルは南向きとし、必ず太陽光が全面に当たるように設置しなければ発電しません。**

# 操作スイッチ説明

このスイッチは AC100V 動作時は、「OFF」にしても信号機は停止しません。「ソーラー充電」にすると、停止します

### スムーズくん2 親機

両方が赤の時間で  
交通量で時間変動の動作をします  
（トビラ裏面説明参照）

片方が青の時間で  
交通量が多い現場は多めに  
設定して下さい  
（トビラ裏面説明参照）

モード切替 ①通常  
交通量で時間変動の動作をします  
②赤固定  
両赤点滅  
③タイマー  
設定時間の固定時間で動作します  
④両赤点滅  
両方の信号機が赤の点滅をします

「0」 通常運転モードで動作しています  
「1」 両赤時間固定モードで動作しています  
「2」 タイマー運転モードで動作しています  
「3」 赤点滅モードで動作しています  
「4」 手動運転モードで動作しています  
「5」 センサー異常の動作をしています  
「6」 親機と子機の通信が出来ていません  
「7」 本機のセンサーが異常と考えられます  
「8」 本機がバッテリーの電圧が低いです  
「9」 本機がソーラーで充電されていません

状態確認

バッテリー残量確認

←SW1 ON ←SW2 ON

### スムーズくん2 子機

両方が赤の時間で  
交通量で時間変動の動作をします  
（トビラ裏面説明参照）

片方が青の時間で  
交通量が多い現場は多めに  
設定して下さい  
（トビラ裏面説明参照）

モード切替 ①通常  
交通量で時間変動の動作をします  
②赤固定  
両赤点滅  
③タイマー  
設定時間の固定時間で動作します  
④両赤点滅  
両方の信号機が赤の点滅をします

「0」 通常運転モードで動作しています  
「1」 両赤時間固定モードで動作しています  
「2」 タイマー運転モードで動作しています  
「3」 赤点滅モードで動作しています  
「4」 手動運転モードで動作しています  
「5」 センサー異常の動作をしています  
「6」 親機と子機の通信が出来ていません  
「7」 本機のセンサーが異常と考えられます  
「8」 本機がバッテリーの電圧が低いです  
「9」 本機がソーラーで充電されていません

状態確認

バッテリー残量確認

←SW1 ON ←SW2 ON

の表示部に、確認スイッチを押した時だけ現在の状況を表示します。（通常は消灯です）  
 の「状態確認」スイッチを押すと現在の運転状況が確認出来ます。  
 状態表示 { 0 ~ 6 の数字 } の後、エラーがあれば「E」表示に続き { 7 ~ 9 の数字 }、その後無線機のチャンネル番号が「c」表示に続き { 1 ~ 8 の数字 } で表示されます。  
 の「バッテリー残量確認」スイッチを押すと、「-」を表示後 { 0 ~ 3 の数字 } でバッテリー残量が確認出来ます。  
**数値が大きいくほど、バッテリーの残量が多いです。「0」の場合は、バッテリーを交換して下さい。**  
 のスイッチは、バッテリー（ソーラー）使用時の電源スイッチです。  
 「ON」にすると、信号機の動作をしてソーラーからバッテリーへの充電もします。  
 「OFF」にすると、ソーラーで発電してない場合は信号機は停止（ソーラー充電も停止）します。  
 「ソーラー充電」にすると、ソーラーからバッテリーには充電されませんが信号機の動作は停止します。  
 AC100V とバッテリーを両方使用の場合 AC100V で動作します。ただし停電時は自動的にバッテリーになります。  
 のモード切替スイッチで、運転モードが切替出来ます。  
 運転中でも切替可能ですが、両赤点滅以外のモードに切替わるのは少し時間が経過してからです。  
**逆に、両赤点滅モードにするとすぐ信号が赤点滅になりますので慎重に操作して下さい。**

## 赤時間の設定

片側交互区間の距離 (停止線から停止線まで)	設定 参考時間
100m以下	20秒
150m以下	25秒
200m以下	30秒
300m以下	35秒
400m以下	40秒
500m以下	45秒

## 青時間の設定

信号が青から赤になり次に青になるまでに停止する車両の台数	設定 参考時間
10台以下	20秒
11台~20台	30秒
21台~30台	40秒
31台~40台	50秒
41台~50台	60秒
51台~60台	70秒

危険と思われる場合は+ して下さい。 朝・夕の通勤時間等、最大の台数で設定して下さい。

**使用しない時は、横倒しにしないで下さい。雨水が入り故障の原因となります。立てて保管して下さい**